



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 日本ピグメント株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4119 URL <https://www.pigment.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 田代 喜一
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員(氏名) 小川 芳輝 TEL 03-6362-8801
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	6,867	1.5	79	—	147	134.3	6,506	—
2024年3月期第1四半期	6,762	4.2	△10	—	63	△39.3	22	△75.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 6,818百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 417百万円(10.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	4,145.49	—
2024年3月期第1四半期	14.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	46,416	23,098	45.4
2024年3月期	29,626	15,698	48.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 21,070百万円 2024年3月期 14,498百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	100.00	100.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	32.3	100	—	200	72.3	6,800	—	4,332.25
通期	42,000	57.4	450	5.7	600	△7.5	7,000	—	4,459.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 4社(社名) 住化カラー株式会社、上海金住色母料
有限公司、住化佳良精細材料(南通)、除外 一社(社名) —
有限公司、大恭化学工業股份有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	1,575,899株	2024年3月期	1,575,899株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	6,281株	2024年3月期	6,272株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	1,569,620株	2024年3月期1Q	1,569,769株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の回復や雇用・所得環境の改善などを背景に、景気は緩やかに回復しましたが、円安等の影響による物価上昇や、それに伴う個人消費の低迷が懸念されております。また、世界経済は、欧米諸国の金融引き締めによる世界経済の後退懸念や、地政学的リスクの長期化、中国経済の先行き懸念など不透明な情勢が続いております。

このような状況の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は68億6千7百万円（前年同期比1.5%増）、経常利益は1億4千7百万円（前年同期比134.3%増）となりましたが、住化カラー株式会社の株式取得に伴う負ののれん発生益67億6千9百万円の特別利益の計上や、海外連結子会社である天津碧美特工程塑料有限公司の関係会社整理損失引当金繰入額3億1百万円の特別損失の計上などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は65億6百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益2千2百万円）となりました。

当社グループのセグメント別の業績は次のとおりです。

「日本」

国内部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、主要の自動車用途において認証不正問題に伴う生産停止から取扱い数量減少の影響を受けましたが、製造経費削減の効果もあり部門営業利益は昨年を上回りました。

樹脂用着色剤部門は、化粧品・トイレタリー向けで回復を見せ、一部の飲料用途が堅調なこともあり部門営業利益は昨年を上回りました。

加工カラー部門は、主要取引先の建材関係が堅調に推移し、液体分散体では低調であった中小型ディスプレイ用途が徐々に回復傾向にあり、部門営業利益は昨年を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は37億4千9百万円（前年同期比7.2%増）、営業損失は4千1百万円（前年同期営業損失5千7百万円）となりました。

「東南アジア」

東南アジアは、インドネシアにおける輸出入規制改正を意識した顧客の在庫確保の動きから前倒し対応としての販売増加要因があったものの、全般的に最終製品の需要低迷の影響を受けたことから当第1四半期連結累計期間の売上高は30億4千5百万円（前年同期比4.0%減）となりました。一方で、販売構成の変化や為替等の影響並びに経費削減により営業利益は1億4千2百万円（前年同期比113.8%増）となりました。

「中国」

中国は、日系自動車販売の低調継続により販売が減少し、当第1四半期連結累計期間の売上高は7千2百万円（前年同期比20.7%減）となり、営業損失は2千2百万円（前年同期営業損失2千万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、住化カラー株式会社および同社の子会社を連結の範囲に含めたことで464億1千6百万円となり、前期末の296億2千6百万円に比べ167億9千万円の増加となりました。

資産のうち流動資産は259億9千5百万円と前期末の159億9千6百万円に比べ99億9千8百万円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が14億5千5百万円、受取手形及び売掛金が48億7千7百万円、商品及び製品が20億6千9百万円、原材料及び貯蔵品が9億2千3百万円それぞれ増加したことなどによるものです。固定資産は204億2千1百万円と前期末の136億2千9百万円に比べ67億9千1百万円の増加となりました。この主な要因は建物及び構築物が13億5千4百万円、土地が10億4千万円、投資有価証券が39億5千9百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は233億1千8百万円と前期末の139億2千8百万円に比べ93億9千万円の増加となりました。主な内訳としては、流動負債において、支払手形及び買掛金が42億4千1百万円増加したことなどによるものです。固定負債においては、繰延税金負債が10億5千8百万円、退職給付に係る負債が12億7千2百万円増加しております。

また純資産は230億9千8百万円と前期末の156億9千8百万円に比べ74億円の増加となりました。この主な要因は利益剰余金が63億4千9百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期における第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「第2四半期および通期連結業績予想の修正ならびに特別利益、特別損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,641,417	5,096,579
受取手形及び売掛金	6,754,193	11,632,119
商品及び製品	2,279,833	4,349,232
原材料及び貯蔵品	1,816,748	2,740,569
その他	1,505,280	2,180,211
貸倒引当金	△1,006	△3,500
流動資産合計	15,996,465	25,995,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,818,282	3,172,475
土地	3,553,556	4,594,019
その他(純額)	1,670,464	1,633,262
有形固定資産合計	7,042,302	9,399,758
無形固定資産		
	116,017	465,839
投資その他の資産		
投資有価証券	5,146,677	9,106,639
退職給付に係る資産	921,499	943,476
繰延税金資産	84,274	85,620
その他	322,805	423,735
貸倒引当金	△3,585	△3,585
投資その他の資産合計	6,471,671	10,555,886
固定資産合計	13,629,991	20,421,484
資産合計	29,626,457	46,416,698
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,272,526	10,514,385
短期借入金	2,320,709	2,913,500
未払法人税等	193,516	95,574
賞与引当金	175,414	532,714
関係会社整理損失引当金	—	301,330
その他	1,175,707	2,131,743
流動負債合計	10,137,874	16,489,249
固定負債		
長期借入金	2,495,965	2,698,269
繰延税金負債	797,779	1,855,959
退職給付に係る負債	423,592	1,696,511
その他	72,996	578,303
固定負債合計	3,790,333	6,829,044
負債合計	13,928,208	23,318,293

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,033,981	1,033,981
利益剰余金	10,250,225	16,600,120
自己株式	△19,029	△19,053
株主資本合計	12,746,336	19,096,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,675,365	1,702,950
為替換算調整勘定	△88,156	108,136
退職給付に係る調整累計額	164,905	162,863
その他の包括利益累計額合計	1,752,114	1,973,950
非支配株主持分	1,199,797	2,028,245
純資産合計	15,698,248	23,098,404
負債純資産合計	29,626,457	46,416,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,762,801	6,867,394
売上原価	5,975,304	5,941,426
売上総利益	787,496	925,968
販売費及び一般管理費	798,261	846,746
営業利益又は営業損失(△)	△10,764	79,221
営業外収益		
受取利息	2,918	4,393
受取配当金	42,703	53,131
持分法による投資利益	8,435	—
為替差益	24,136	20,462
その他	16,520	19,158
営業外収益合計	94,715	97,146
営業外費用		
支払利息	19,139	14,160
持分法による投資損失	—	5,578
その他	1,714	8,798
営業外費用合計	20,854	28,537
経常利益	63,096	147,829
特別利益		
固定資産売却益	199	1,374
負ののれん発生益	—	6,769,154
特別利益合計	199	6,770,528
特別損失		
固定資産除売却損	116	291
固定資産処分損	—	15,150
関係会社整理損失引当金繰入額	—	301,330
特別損失合計	116	316,772
税金等調整前四半期純利益	63,179	6,601,586
法人税、住民税及び事業税	25,326	61,639
法人税等調整額	△585	△5,299
法人税等合計	24,740	56,340
四半期純利益	38,438	6,545,246
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,356	38,388
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,082	6,506,858

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	38,438	6,545,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	263,099	27,584
為替換算調整勘定	111,398	192,057
退職給付に係る調整額	2,612	△1,778
持分法適用会社に対する持分相当額	1,543	55,236
その他の包括利益合計	378,654	273,100
四半期包括利益	417,093	6,818,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	357,471	6,728,693
非支配株主に係る四半期包括利益	59,621	89,652

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【報告セグメントの変更等に関する事項】

前連結会計年度より従来「その他」に含まれていた「中国」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法へ変更しております。

そのため、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,497,324	3,174,104	91,372	6,762,801	—	6,762,801
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25,816	—	—	25,816	△25,816	—
計	3,523,141	3,174,104	91,372	6,788,618	△25,816	6,762,801
セグメント利益 又は損失(△)	△57,354	66,782	△20,192	△10,764	—	△10,764

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,749,134	3,045,837	72,422	6,867,394	—	6,867,394
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41,284	—	—	41,284	△41,284	—
計	3,790,418	3,045,837	72,422	6,908,678	△41,284	6,867,394
セグメント利益 又は損失(△)	△41,216	142,783	△22,344	79,221	—	79,221

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結会計期間の日本セグメントにおいて、住化カラー株式会社の株式を取得し同社を連結の範囲に含めたことにより負ののれん発生益を6,769百万円計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため上記セグメント利益には含まれておりません。また、負ののれん発生益の金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	230,790千円	202,877千円